

今回は、令和4年11月15日(火)にラビドール御宿が単独で行った東京セミナーについてお知らせします。

この東京セミナーは、ラビドール御宿の資料請求者の方々から御宿まで行くのは時間がかかり遠いので、東京駅近くで現地スタッフとの相談や有料老人ホームを選ぶ上で適切なアドバイスを頂けないかとのお声を頂戴しており、開催を決定しました。

セミナーの内容は、かわら版の作者：私が講師となり、高齢者の現状と今後の展望を説明し、有料老人ホームを比較検討するには最重要である「重要事項説明書」の必ずチェックしなければいけないポイントについて解説しました。

次に、現地スタッフがセミナー参加者の質問に直接解答する時間を設け、10問以上のやり取りがありました。

そして、東京セミナー閉会後も5組の方が残り、私どもと個別に具体的な話し合いが行われ、実りあるセミナーになったと思います。

東京セミナーで質問された中から2例を紹介します。

質問1.「ラビドール御宿は、入居時自立型ホームを表明していますが、自立型ホームのメリットは何ですか。また、自立型ホームを将来も続けられるのですか。」

この質問は、私が、「入居時自立型ホームのメリットは、入居された高齢者が元気に長寿を目指す環境が整っていること。常に専門のスタッフが見守りしている安心感と一般的には70歳を超えると老人扱いですが、当ホームでは70歳代はヤングシニアであり、90歳代の諸先輩が元気に趣味や普段の生活を頑張っている相乗効果が得られます。全国的に数少ない自立型ホームを未来永劫続ける考えです。」と解答しました。

質問2.「介護業界の人材不足はニュースになっているが、先ほどの重要事項説明書では、介護職員の人員体制は充足しており、ベテラン職員も多くいると説明されたが、ラビドール御宿の給与面が良いからですか。」

この質問は、伊藤支配人が、「給与面でいえば、外房地区の高齢者施設とあまり変わりません。従業員の定着率が高く、ベテラン職員が多いのは、今から14年前(平成20年)に始めた近隣の高校生を新卒者として採用したことです。その当時は、退職者が出たら介護経験者の中途採用が当たり前で、18歳の新卒高校生をホームで育てるという考えがない時代に、高校の進路指導の先生を訪問し、ご理解を頂きました。第1期入社の職員は、14年目を迎え教育リーダーに成長し、新卒者は今も定期的に採用しております。」と解答しました。

今回の東京セミナーに諸事情から参加できなくなった応募者から、「次回はいつ開催するの」と問い合わせがあり、来春に企画しますと答えました。

暖かくなった春光の下、第2回東京セミナーでお待ち申し上げます。

以 上

